

第 194 回 現代のヨーロッパ

1 ヨーロッパ統合

- ・ヨーロッパでは、1992年にオランダで（ ）が結ばれ、ヨーロッパ共同体（EC）から（ ）へと発展した。
※2023年現在、イギリスの離脱によって27カ国が加盟。

- ・1999年にヨーロッパ中央銀行が設立され、2004年にEU憲法が制定された。
- ・2002年に共通通貨（ ）が発行され、2023年現在20カ国で流通する。

- ・2007年、リスボン条約でEU大統領の役職が新設された。
- ・2009年、ギリシアなどの財政危機からユーロ危機が発生した。
- ・2016年、国民投票で（ ）のEU離脱が決まった。



EU離脱に反対するイギリス人
EU離脱のスローガン Get Brexit Done
(ブレグジットを実現しよう)への皮肉。

2 ユーゴ紛争

- ・バルカン半島の多民族国家（ ）では、長期に渡り政権をにぎった（ ）が1980年に死去すると、内戦が勃発した。

- ・1991年、ユーゴスラヴィアを構成する（ ）、スロヴェニア、マケドニア（現在の北マケドニア）が次々に独立宣言を行った。
→1992年、諸民族が混在する（ ）が独立宣言すると、セルビアとの間で激しい内戦となった。
- ・1992年、セルビアとモンテネグロによる新ユーゴスラヴィア連邦が成立した。
→1996年にはアルバニア系住民が多い（ ）の独立運動も発生し、NATOによるセルビア空爆も行われた。
→2006年、セルビアとモンテネグロが分離し、ユーゴは完全に解体された。



処刑した市民を蹴る兵士

5つの民族が6つの共和国を形成するユーゴスラヴィア内戦は、戦後のヨーロッパにおける最大の内戦となった。25万人以上が死亡し、250万人以上が難民となった。



サラエヴォのスタジアム

特に民族構成が複雑なボスニア=ヘルツェゴヴィナでは、多くの犠牲者を出した。かつてオリンピックが開かれたスタジアムは、現在犠牲者の墓地となっている。



ミロシェヴィッチ

セルビア系の大統領で、コソヴォのアルバニア人を弾圧して、国際社会から非難を浴びた。紛争後は残虐行為の責任を問われて国際刑事法廷に送られた。

3 現代のヨーロッパ諸国

- ・現代のヨーロッパは統合の方向性が不透明となり、2015年以降は中東からの移民や難民が大量にヨーロッパへ到来し、混乱や分断を招いている。

- ・移民排斥や保護貿易など極端な主張で大衆の支持を集める（ ）という政治手法が伸長し、各国で右派政党の台頭が目立っている。

<現代のイギリス>

- ・サッチャー退任後、1990年にメージャーが首相となり保守党政権が続いた。
→1997年に労働党の()、続いてブラウンが首相となった。
→2020年、保守党政権でEUから離脱する()が実現した。
→2023年、初のインド系として保守党のスナクが首相となった。



ブレア(労働党)イラク戦争への介入により、支持率を低下させた。ロックが好き。

<現代のフランス>

- ・フランスでは、1995年にシラク、2007年にサルコジが大統領となった。
→2012年にオランド、2017年にマクロンが大統領となった。

<現代のドイツ>

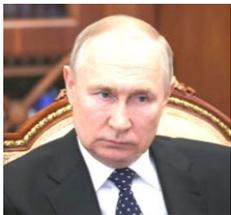
- ・ドイツでは、西ドイツの()が引き続き統一ドイツ首相を務めた。
→1998年にドイツ社会民主党のシュレーダー、2005年からはキリスト教民主同盟の()が、ドイツ初の女性首相として長期政権を築いている。



メルケル 実は東ドイツ育ちである。

<現代のロシア>

- ・ロシアでは、ソ連消滅後にエリツィンが大統領となったが経済が低迷した。
→1994年、カフカスで()が発生し、激しいテロも頻発した。
→2000年、()が大統領に就任し、強権支配を行った。
→2008年にメドヴェージェフ、2012年から再びプーチンが大統領となった。
・2014年、ロシアはウクライナ領の()を併合した。
→2022年、ロシアは()へ軍事侵攻し、激しい戦争が続いている。



プーチン

柔道五段を持っており、ソ連時代は東ドイツでスパイ活動をしていた。いろいろな意味で最強の大統領である。ウクライナ戦争の行方次第では失脚やクーデタもありえるか。



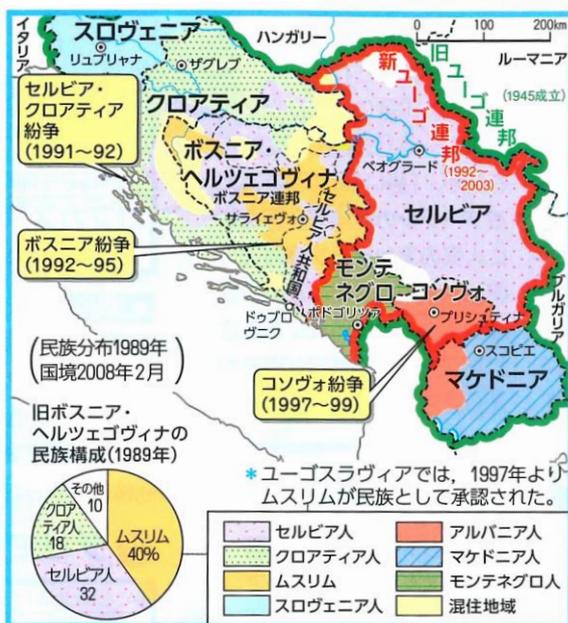
メドヴェージェフ

プーチンの側近として、2008年に後継者となった。ただしあくまで憲法の規定上の理由であり、実権はプーチンが握り続けた。



ウクライナのゼレンスキー

コメディアン出身で、ドラマで大統領を演じたことをきっかけに、2019年に大統領となった。ロシアの侵攻を受けて首都にとどまり、徹底抗戦を続けている。



クリミア半島情勢

